



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年10月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 田中 光晴 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2017年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	7,752	7.9	290	33.0	241	52.0	156	311.6
2017年3月期第2四半期	7,187	△6.8	218	△32.7	158	△37.1	37	△22.5

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 213百万円(210.3%) 2017年3月期第2四半期 68百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	27.97	27.87
2017年3月期第2四半期	6.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第2四半期	18,824	7,268	38.0	1,282.09
2017年3月期	18,823	7,130	37.4	1,259.60

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 7,157百万円 2017年3月期 7,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2018年3月期	—	0.00			
2018年3月期(予想)			—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	1.2	690	10.0	570	19.1	340	31.4	59.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期2Q	6,006,373株	2017年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	423,992株	2017年3月期	423,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期2Q	5,582,381株	2017年3月期2Q	5,882,439株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、雇用状況や所得の改善により緩やかな回復基調となりました。世界経済は、海外政治・世界情勢の不透明感が続いている中、総じて緩やかに拡大いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物は、堅調な設備投資を受けて生産関連貨物を中心に増加いたしました。国際貨物は、世界経済の拡大基調により各方面の輸出入の取扱高が増加いたしました。

このような事業環境の中、当社は、無線通信機器の取扱いが減少したものの、国際航空貨物及び制御システム取扱いにおける新規案件に加え、工作機械のスポット受注が増加したことにより、売上高は大幅に増加いたしました。利益面におきましては、売上高の増加及び賃貸ビル事業において満室が寄与したことにより、営業利益は増加いたしました。

中国連結子会社におきましては、前期に整理した華東地区の子会社2社が連結対象から外れたことにより、売上高は減少いたしました。利益面におきましては赤字子会社2社を整理したことに加え、上海地区子会社における工作機械の取扱いが好調に推移したことにより増加いたしました。

米国連結子会社におきましては、主要顧客の大幅増産に伴う工作機械のスチール梱包業務が好調を維持したことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77億52百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益2億90百万円(前年同期比33.0%増)、経常利益2億41百万円(前年同期比52.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億56百万円(前年同期比311.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

新規案件が大きく寄与したほか、海外子会社の業績が工作機械取扱い増加及び中国事業再編等により改善したことで、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高56億79百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益5億10百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

② 運輸事業部門

無線通信機器の取扱いが減少したものの、医療機器及び国際航空貨物の取扱いが増加したことにより、売上高はほぼ前年並みとなりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高10億38百万円(前年同期比0.1%減)、セグメント利益33百万円(前年同期比30.7%増)となりました。

③ 倉庫事業部門

国際航空貨物取扱いにおける新規案件の開始が売上高に寄与しましたが、前期発生したスポット売上がなくなったことにより、売上高及びセグメント利益ともに微減となりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高8億95百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益1億63百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

フリーレント期間が終了したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億41百万円(前年同期比19.7%増)、セグメント利益51百万円(前年同期比136.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産188億24百万円となり、前連結会計年度末とほぼ同水準となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、49億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少1億65百万円、受取手形及び売掛金の増加2億15百万円、原材料及び貯蔵品の増加23百万円、その他流動資産の増加33百万円によるものであります。

固定資産につきましては、138億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億86百万円、リース資産の減少1億14百万円、建設仮勘定の増加1億68百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少15百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加57百万円、繰延税金資産の減少15百万円によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、115億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、38億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少67百万円、短期借入金の減少22百万円、未払法人税等の増加79百万円、その他流動負債の増加1億40百万円によるものであります。

固定負債につきましては、77億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億61百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少1億38百万円、リース債務の減少1億25百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、72億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加66百万円、その他有価証券評価差額金の増加39百万円、繰延ヘッジ損益の増加14百万円、新株予約権の増加12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.4%から38.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異につきましては、本日(2017年10月31日)公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、2017年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,424,499	1,259,419
受取手形及び売掛金	3,047,473	3,262,818
原材料及び貯蔵品	107,259	130,544
繰延税金資産	110,355	108,016
その他	179,494	212,772
貸倒引当金	△6,000	△5,000
流動資産合計	4,863,083	4,968,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,666,118	7,479,392
機械装置及び運搬具(純額)	86,494	83,777
土地	2,303,455	2,303,455
リース資産(純額)	2,010,548	1,896,090
建設仮勘定	—	168,147
その他(純額)	31,706	35,443
有形固定資産合計	12,098,323	11,966,307
無形固定資産		
ソフトウェア	104,490	89,024
その他	674	621
無形固定資産合計	105,164	89,646
投資その他の資産		
投資有価証券	450,683	508,310
破産更生債権等	8,047	7,907
繰延税金資産	662,528	647,428
その他	640,552	644,165
貸倒引当金	△4,464	△7,907
投資その他の資産合計	1,757,348	1,799,904
固定資産合計	13,960,836	13,855,857
資産合計	18,823,919	18,824,429

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,547	502,251
短期借入金	1,813,819	1,791,023
リース債務	246,230	248,233
未払法人税等	46,545	126,003
賞与引当金	275,596	267,829
その他	748,314	889,230
流動負債合計	3,700,053	3,824,570
固定負債		
長期借入金	4,535,060	4,396,840
リース債務	1,860,184	1,734,981
退職給付に係る負債	826,544	843,322
資産除去債務	414,947	419,430
長期預り金	207,625	208,912
金利スワップ	148,743	128,164
固定負債合計	7,993,105	7,731,651
負債合計	11,693,159	11,556,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,298,688	2,365,532
自己株式	△208,622	△208,622
株主資本合計	7,055,060	7,121,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,086	194,019
繰延ヘッジ損益	△103,198	△88,920
為替換算調整勘定	△6,478	△7,231
退職給付に係る調整累計額	△67,924	△62,664
その他の包括利益累計額合計	△23,514	35,203
新株予約権	—	12,950
非支配株主持分	99,214	98,148
純資産合計	7,130,760	7,268,206
負債純資産合計	18,823,919	18,824,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	7,187,214	7,752,771
売上原価	5,827,328	6,340,780
売上総利益	1,359,886	1,411,990
販売費及び一般管理費		
販売費	541,620	536,878
一般管理費	600,216	585,007
販売費及び一般管理費合計	1,141,836	1,121,885
営業利益	218,049	290,104
営業外収益		
受取利息	358	143
受取配当金	6,553	6,794
受取保険金	5,067	5,438
その他	4,995	2,838
営業外収益合計	16,974	15,214
営業外費用		
支払利息	76,273	62,746
その他	—	1,229
営業外費用合計	76,273	63,975
経常利益	158,751	241,343
特別利益		
固定資産売却益	105	—
投資有価証券売却益	—	12
特別利益合計	105	12
特別損失		
関係会社株式売却損	90,971	—
固定資産売却損	3,155	—
投資有価証券売却損	75	—
特別損失合計	94,201	—
税金等調整前四半期純利益	64,655	241,356
法人税、住民税及び事業税	17,300	89,000
法人税等調整額	9,498	△2,156
法人税等合計	26,798	86,843
四半期純利益	37,856	154,512
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△84	△1,649
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,941	156,162

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
四半期純利益	37,856	154,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,582	40,516
繰延ヘッジ損益	7,136	14,278
為替換算調整勘定	34,157	△752
退職給付に係る調整額	5,341	5,260
その他の包括利益合計	31,053	59,301
四半期包括利益	68,909	213,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,028	214,880
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,118	△1,065

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,128,166	1,037,573	903,406	118,068	7,187,214	7,187,214
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,270	—	—	2,270	2,270
計	5,128,166	1,039,843	903,406	118,068	7,189,485	7,189,485
セグメント利益	453,924	25,975	176,104	21,766	677,771	677,771

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	677,771
セグメント間取引消去	381
全社費用(注)	△460,103
四半期連結損益計算書の営業利益	218,049

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,679,755	1,036,446	895,264	141,304	7,752,771	7,752,771
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,921	—	—	1,921	1,921
計	5,679,755	1,038,368	895,264	141,304	7,754,692	7,754,692
セグメント利益	510,150	33,959	163,848	51,482	759,440	759,440

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	759,440
セグメント間取引消去	208
全社費用(注)	△469,544
四半期連結損益計算書の営業利益	290,104

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。